

活動報告

福島、その先の環境へ。ツアー2023 & 座談会

福島、
その先の
環境へ。

シンポジウム
2024

福島、その先の環境へ。シンポジウム2024
～ いま、福島について伝えたいこと ～

ツアーに参加して感じたこと

- 被災した地域の規模の大きさ、中間貯蔵施設の広さ
- 復興状況も、被災地域の人々の体験も様々で、一括りに捉えられないこと
- 場所ごとの時間の流れの速さの違い
- 復興は自然には進んでいかないこと、気の遠くなるような作業の累積
- 「知ってほしい」という思い、知ろうとする人を受け入れる雰囲気
- 現地の人の生の声を聞くと、他人事とは思えなくなる
- いろいろな実験が行われている場所（未来への可能性）



こういう想いを持ったか

- 今からでも、学び始めるのに遅くはない。
- 手っ取り早く復興する方法はなく、人の地道な行動の積み重ねで現在の姿がある。
- 体験して「関係ない」人から「関係している」人に。
- 情報リテラシー（情報を正しく読み取り、正しく発信する力）を身につけたい。





ツアー参加後に動いたこと

- ・福島ツアーで体験したことを周りの人に話した。
(小中高生・友人や家族など)
- ・ハフポストの記事をSNSに投稿した。
- ・浅野撚系のタオルを知人にプレゼントした。
- ・震災関連イベントに参加した。



→3.11に関する話はそこから話題が広がることが多い。
→これからも行動して、アンテナを伸ばしていきたい。



ツアー参加後に動いたこと

- ・ 福島ツアーで体験したことを周りの人に話した。
(小中高生・友人や家族など)
- ・ ハフポストの記事をSNSに投稿した。
- ・ 浅野撚系のタオルを知人にプレゼントした。
- ・ 震災関連イベントに参加した。



→ 3.11に関する話はそこから話題が広がることが多い。
→ これからも行動して、アンテナを伸ばしていきたい。